

令和8年4月24日

質問回答書

件名	研究開発チームを支える管理監督者向けのコーチング研修
----	----------------------------

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

No.	質問内容	回答内容
1	仕様書5(1)の「コーチング研修を実施する」及び「プロコーチとの対話の機会を提供する」は、それぞれ独立した実施要件として理解すべきでしょうか。あるいは、同一のセッションを指すものとして差し支えないでしょうか。	それぞれを満たしていれば同一のセッションを指すものとする事で差支えございません。
2	仕様書5(2)のオンライン学習は、講師によるリアルタイム配信を想定されていますか。それとも、録画コンテンツ等のオンデマンド形式を含む想定でしょうか。	録画コンテンツ等のオンデマンド形式を含む想定となります。
3	仕様書5(2)の「期間中20回以上」とは、各参加者が20回以上受講することを求める趣旨でしょうか。あるいは、受託者として期間中20回以上の学習機会を設定する趣旨でしょうか。	受託者として期間中20回以上の学習機会を設定する趣旨となります。
4	仕様書6に定める資格要件について、オンライン学習を担当する講師についても、国際コーチング連盟(ICF)認定資格の保有が必須との理解でよろしいでしょうか。	オンライン学習を担当する講師につきましては、国際コーチング連盟(ICF)認定資格の保有を必須とはしておりませんが、保有者による実施が望ましいと考えております。
5	オンライン学習はコーチング研修との関連性が求められておりますが、両者の内容に一部重複がある構成でも差し支えないでしょうか。あるいは、内容は明確に切り分けることが求められますでしょうか。	オンライン学習とコーチング研修の内容については、一体不可分の箇所もあるかと思量するため、一部重複することは差支えございません。
6	オンライン学習の実施にあたり、使用するツールについて指定のものはございますでしょうか。指定がない場合、受託者提案のシステムを使用して差し支えないでしょうか。	受託者提案のシステムの使用で差支えございません。
7	仕様書5(3)のアセスメントツールについて、QST側で指定又は導入済みのツールはございますでしょうか。指定がない場合、受託者提案のツールを用いる想定でよろしいでしょうか。	受託者提案のツールを用いる想定で差支えございません。

No.	質問内容	回答内容
8	仕様書5(3)の「期間中3回以上、アセスメントツールを用いた効果測定 のフィードバックを行う」について、各参加者への個別フィードバックを3回以上 実施する想定でしょうか。	研修開始後2～3ヶ月毎に3回以上実施することを想定しております。
9	参加者間のディスカッションや意見交換の機会については、独立した回として 設定する必要がありますでしょうか。あるいは、オンライン学習又はコーチ ング研修の一部として組み込む形式でも差し支えないでしょうか。併せて、 回数や1回あたりの時間の目安があればご教示ください。	オンライン学習又はコーチング研修の一部として組み込む形式でも差し支え ありません。回数や1回あたりの時間の目安は特にございません。
10	研修は原則オンラインとの記載ですが、対面での実施を求められる可能性 はございますでしょうか。対面実施が発生する場合、講師の旅費交通費は 見積額に含める理解でよろしいでしょうか。	オンラインでの実施を想定しておりますので、旅費交通費は見積額に含めず に提出をお願いいたします。
11	本件で想定される参加者15名の役職階層について、差し支えない範囲でご 教示いただけますでしょうか。一般的な管理職向けの内容に加え、役員・拠 点長層に求められる組織変革やビジョン浸透等の観点を重視することが期 待されておりますでしょうか。	役員及び各拠点長の研究開発チームを支える部長等を想定しております。 御質問のとおり、一般的な管理職向けの内容に加え、役員・拠点長層に求め られるパーパス、ビジョン、バリューの浸透等の観点を重視することを期待して おります。
12	対象者のご都合を踏まえ、実施時間帯や日程変更への対応について、あら かじめ想定されている運用ルールがございましたらご教示ください。	受注後に日程調整を行いましたら、参加人数も多いため原則当該日時にて実 施することといたします。何等か事情が生じた際には、日程調整の相談をさせ ていただくかもしれませんが、弊機構事情の場合で変更が難しい場合は、出 席可能な対象者のみにて実施することといたします。
13	13. ICF認定資格者の配置にあたり、資格レベル(ACC、PCC、MCC等)や、 研究開発組織・官公庁等における支援経験について、特に重視される観点 がございましたらご教示ください。	資格レベルに制約は設けておりませんが、特にMCCの資格を有し、研究開発 組織・官公庁等における支援経験のあるICF認定資格者の配置を希望しま す。